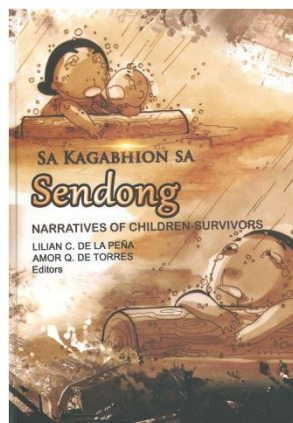


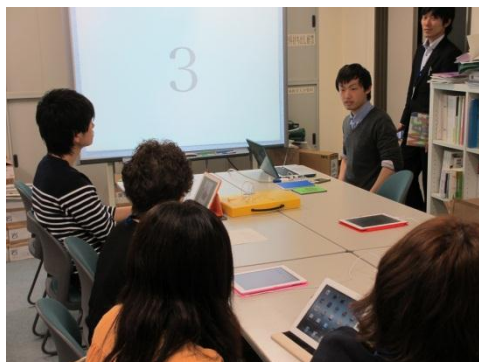
① 第5回復興力フェ（6月10日・月）

キャピトル大学教授・教育開発連携部長のアモーレ・デ・トレスさんにフィリピンの教育大学の現状、台風センドンの被災体験と地域の防災教育についてお話しいただきました。アモーレ先生は、翌日、気仙沼市教育委員会・気仙沼ESD/RCE推進会議主催の「気仙沼ESD/ユネスコスクール研修会」にて講演を行いました。※センドンの絵本（英語版）をご寄贈頂きましたので、教育復興支援センターにて所蔵しています。



② 第12回iPad講習会（6月12日・水）

iPadのフリーアプリ「Evernote」について、第一部ではプレゼンテーションを通じ知識を得、第二部では知識をもとに実際にEvernote活用の実践を行いました。この講習会を踏まえて、本センター所有のiPadを活用した報告書作成に、Evernoteを活用することを検討しています。



③ 第10・11回被災地視察研修（6月15日・土 & 6月16日・日）

両日とも、当センター特任教授の解説で、南三陸町立戸倉小学校、防災対策庁舎、石巻市立大川小学校を視察しました。南三陸さんさん商店街で昼食を取りましたが、学生からは「今後、復興に向けて頑張っているところも視察研修に行きたい」などの意見がありました。



今は使われていないトンネル



宇津野高台から見た戸倉小学校跡地

④ 第6回拡大復興カフェ in Miyakyo (6月26日・水)

「震災を忘れないために～学生からのメッセージ」をテーマに1年生の赤間仁美さん、首藤大知さん、2年生の渡辺壮太さんに、震災当時の体験や、これからの活動に対する想い、宮教大生へのメッセージなどをお話しいただきました。司会は、第4回復興カフェ発表者の菊田真由さんでした。今回は、萩朋会館・大集会室で開催したため、昼食持参で聞いている学生が多く、カフェらしいリラックスした雰囲気の中、行われました。



⑤ 第2回ボランティア新聞を作ろう講習会 (6月26日・水)



5月29日に続き、第2回目のボランティア新聞を作ろう講習会を開催しました。
※学生がつくるボランティア新聞の完成が楽しみです。



学生たちが、手作りケーキでセンター誕生を祝ってくれました。

⑥ 竣工式&竣工記念オープニングシンポジウム (6月29日・土)

本センター棟竣工を記念して、竣工式とシンポジウムを開催しました。竣工式では、学長挨拶、来賓祝辞、センター棟の概要説明の後に、学習支援ボランティア協力員による決意表明がありました。

午後のシンポジウムでは、本センターのこれまでの活動内容を振り返るとともに、パネルディスカッションを通して、地域に根ざした視点での息の長い支援のシステム作り、震災を抱えて生きる、地方からものを考える・考え続けるなど、時間をオーバーして復興支援を議論しました。



岩沼市立玉浦小学校でのボランティア活動報告など



ボランティア協力員による決意表明

パネリストたち

⑦ 「鹿妻復興マップづくり」プログラムに協力しました。（6月26日・水、7月10日・水）

東北大学災害科学国際研究所や山形大学の防災教育研究者が実施している「鹿妻復興マップづくり」に、本学学生がボランティアで参加しました。石巻市立鹿妻小学校4年生の「総合的な学習の時間」で実施する「鹿妻復興マップづくり」プログラムで、東日本大震災で被害のあった地域の変化を前向きに受け止めていくための活動へのサポートでした。



山形大学・村山教授による事前指導



さあ、児童たちと出発（東北福祉大や早稲田の学生も）

⑧ 学習支援ボランティア研修会 壮行式・不安解消会（7月17日・水）

本センターとボランティア協力員主催の標記研修会を開催しました。約50人が出席し、中井センター長の挨拶、ボランティア活動に参加した学生や、高校時代にボランティア学生の影響を受けた学生の話の後、質疑応答が行われました。



⑨ 東松島市教員研修会開催（7月29日・月）

本センターと東松島市教育委員会共催の教員研修会を開催しました。筑波大学教授藤田晃之氏を講師にお迎えし、247名の受講者の前で「学校における志教育の在り方について」と題した講演後、「東松島市の志教育で何を育てるか」について、質疑応答が行われました。



